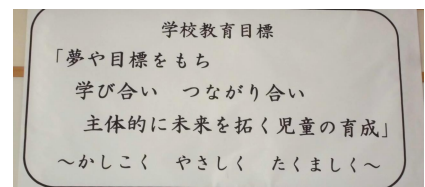
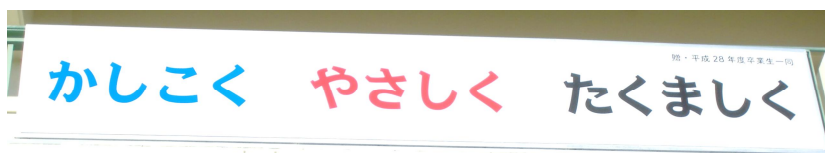




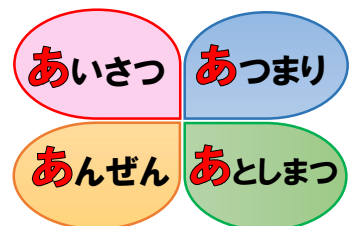
令和7年度 四万十市立中村小学校の紹介



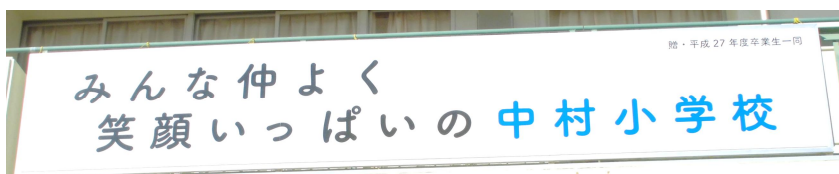
明治5年学制の発布と共に開校した本校は、令和4年度に創立150周年を迎えました（左写真は創立100年記念碑）。四万十市（旧中村市）・幡多地区の中心校として、常に国・県等の教育課程・学力向上研究校としての教育研究を積み重ね、優れた授業や教育活動を展開して、数多くの人材を輩出してきました。「学習指導要領を具現化・実現する学校」を経営理念に、ICTを効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図り、質の高い授業の実現に向けた研究実践に取り組んでいます。



「夢や目標をもち 学び合い つながり合い 主体的に未来を拓く児童の育成~かしこく やさしく たくましく~」を学校教育目標に、知育・徳育・体育のバランスの取れた教育活動を具現化することにより、変化の激しい21世紀を生き抜き、21世紀の社会を主体的に創造できる子どもの育成を目指しています。



学校生活においては、「あいさつ・あんぜん・あつまり・あとしまつ」の4つの「あ」の取り組みを大切に、児童と教職員が心を合わせ一体となって、“明るい学校・美しい学校・温かい学校”を目指しています。



児童会役員がリーダーとなって「みんな仲良く 笑顔いっぱいの中村小学校」をスローガンに、児童会・委員会活動や児童朝会、学校行事やファミリー班活動（掃除・エンカウンター・レクリエーション等）によって、いじめのない明るく元気な学校、笑顔あふれる仲良く温かい学校を目指して取り組んでいます。